

三輪野江小
子どもを伸ばし 毎日がわくわくする

「当たり前」と思考停止

校長 浦井 智治

今年も夏の高校野球は様々なドラマを見せてくれました。決勝は、2年連続連覇を狙う仙台育英学園高等学校（宮城県）と、優勝すれば107年ぶりとなる慶応義塾高等学校（神奈川県）の対戦となり、結果は、8対2で慶応義塾高等学校が優勝しました。

慶応義塾高等学校は、チームとして掲げる「エンジョイ・ベースボール」と「坊主なし」で大きな話題となりました。

「エンジョイ・ベースボール」は、昭和初期に慶応大学野球部の監督を務めた腰本寿さんが、当時の日本の野球が辛いことに耐えて勝利を勝ち取るという修行のようなものになっていたとして、スポーツ本来の明るい発想が必要だと打ち出した考え方で、慶応義塾高等学校の野球部にも受け継がれたそうです。また、主将の大村晃澄選手は試合後のインタビューで「野球は楽しいという本質を表現出来たと思います。心の底から野球は楽しいんだという原動力から出たプレーや行動が最後一番強いと証明したかったので、厳しいときでも笑顔を絶やさず楽しんでと声を掛け合って日本一まで登り詰めたので、常識を変えられたと思います」と言っています。

スポーツの本質である”楽しむ”ことの重要性を感じとれる試合が多かったように思います。また、長い間、野球部の選手たちにとっての象徴となってきた「坊主頭」について、新たなとらえ方が出てきました。慶応義塾高等学校野球部の「坊主なし」は、時代の変化と共に、個々のスタイルや思いを尊重する声も増えてきた近年。坊主頭を強制するのではなく、選手たちの自由なヘアスタイルを尊重し、チーム一丸となって試合に挑む姿勢を大切にしたいのではないかと思います。

慶応義塾高等学校の森田貴彦監督は、著書『Thinking Baseball—慶応義塾高等学校が目指す“野球を通じて引き出す価値”』の中に”21世紀になって20年が経過しましたが、高校野球部のほとんどはいまだに坊主頭のようなです。まず根本的なことを記せば、坊主頭にしていること、それ自体は大きな問題ではありません。～中略～「昔から坊主頭が当たり前なのだから、それでいいじゃないか」という旧態依然とした習わしに倣っただけの思考停止。そちらのほうが罪深いと思います。」と書かれています。

今までと同じ、当たり前だからということで思考停止にならないようにすることが大切です。そして、「予測困難な時代」と言われる今日、時代の変化に対応する柔軟性、多様性を認めていく中で、自分の考えをしっかりともちつことが他の考え方も尊重できるようになっていくのではないのでしょうか。

三輪野江小学校では、2学期も多くの活動を通して“自分で考える”ことを大切にしながら教育活動を進めてまいります。

学校教育目標 あきらめず挑戦できる子

・勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年27名 2年24名 3年30名 4年33名
5年36名 6年37名 ひた9名 合計196名

楽しかった林間学校（奥日光方面）

7月20・21日に5年生の児童が、林間学校に行きました。奥日光にてハイキングやキャンプファイヤー、世界遺産の日光東照宮見学等を行いました。とてもよい体験になりました。（裏面も参照）



三輪野江学区に飛んできたバレーン・リリース

今年の5月に本校5年生児童の自宅付近の畑（半割地区）に手紙が着いている風船が落ちていたそうです。その風船は、150周年記念式典で飛ばした川崎市立生田小学校の児童からのメッセージが書いてありました。拾った児童は、その風船に手紙のついたものを学校（担任）に持ち寄り、生田小学校に連絡したことがきっかけとなり、交流会を実施する運びとなりました。また、同じように風船を拾った学校がもう1校（栃木県の小学校）あり、3校で合同交流会を行います。とても夢のある活動に展開しています。



シリーズで伝える三輪野江小学校の昔話④

三輪野江小の子供たちは制服がありました

広報よしかわに、昭和36年三輪野江小では、校服（制服）ができたとあります。夏は、男子が白の開襟シャツに紺の半ズボン、女子が白のセーラー服と紺のスカート。冬は男子が折りえり黒の上下、女子が紺の上着で清潔で気品があったと記されています。



令和5年8月28日 発行



〒342-0022

吉川市加藤641番地

TEL 048-982-2330

FAX 048-984-5271

8・9月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
28	月	通常日課3時間・2学期始業式
29	火	通常日課3時間
30	水	通常日課4時間・給食開始・発育測定
31	木	
1	金	委員会活動
2	土	
3	日	資源回収
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	ワカマツ幼稚園職員来校（幼小連携）
8	金	ネット安全教室（6年） クラブ活動
9	土	
10	日	資源回収予備日
11	月	陸上大会練習開始（高学年）
12	火	さわやか相談日 市内陸上大会練習
13	水	PBL 講座
14	木	川崎市立生田小学校との交流
15	金	5年減災教育 市内陸上大会練習クラブ活動
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	3年ブックトーク
20	水	市内陸上大会練習
21	木	ふれあいデー
22	金	修学旅行保護者説明会（6校時）クラブ活動
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	市内陸上大会練習
26	火	市内陸上大会練習
27	水	1～4年遠足（東武動物公園）・市内陸上大会練習
28	木	スクールカウンセラー来校
29	金	市内陸上大会練習 クラブ活動
30	土	

10月の予定 16・17日：修学旅行 28日：土曜学校公開

8月・9月の下校時刻の変更について（お知らせ）

8月

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
28	月	通常日課3時間	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
29	火	通常日課3時間	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
30	水	通常日課4時間	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10

9月

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	委員会活動				14:20		
11	月	市内陸上大会練習日					15:35	15:35
12	火	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
15	金	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
20	水	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
22	金	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
25	月	市内陸上大会練習日					15:35	15:35
26	火	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
27	水	市内陸上大会練習日					16:25	16:25
29	金	市内陸上大会練習日					16:25	16:25

楽しかった林間学校 その2



吉川市教育委員会 学校教育課より

令和5年8・9月号

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し
志を立て
夢として生きてゆく

教職員の働き方改革について

本市では、令和2年度に作成した「学校における働き方改革基本方針（吉川市版）」を更新し、教職員の働き方改革を推進しています。教職員の働き方改革を行うことで、教職員のワークライフバランスを保つとともに、子どもと接する時間や授業準備の時間の確保を図り、学校教育の質を高めることができます。教職員、子どもたち、保護者、地域の方々みな気持ちよく過ごせるようになることを目指し、この取組を推進しています。

教職員の時間外在校等時間の現状及び目標、目標達成のために取り組むこと等を以下に示します。

時間外在校等時間が年間360時間超えの教職員の割合（吉川市）

小学校・中学校ともに60%超（令和2年度から令和4年度）

目標 令和6年度末までに月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を100%にする
※これは、埼玉県「学校における働き方改革基本方針」と同じ目標です。

★目標達成のために取り組むこと・取り組んでいること★

○吉川市教育委員会

- ・負担軽減検討委員会を設置し、長時間勤務の状況の分析及び負担軽減策について検討・実行しています。
- ・留守番電話の設置・電話対応時刻の設定・連絡手段のデジタル化を検討します。
- ・スクール・サポート・スタッフを配置し、教員の業務削減を図っています。等

○市内各小・中学校

- ・各学校で「ノー部活デー」を設定しています。
- ・「ふれあいデー」や「学校閉庁日」を実施しています。
- ・学校行事の内容の見直しと精選を図ります。等

○地域・保護者の方へお願い

- ・登下校の児童生徒の見守り活動や運動部活動前の校内見守り等ご協力をおねがいします。
 - ・地域の行事等への教職員の参加について、負担軽減のための精選や工夫を行っています。等
- 地域・保護者の方々には、校外学習のお手伝いや学校や通学路の環境整備等、様々なご協力いただいております。今後も引き続き子どもたちを育てるため、ご協力をお願いします。



教育相談のご案内

吉川市少年センターでは、小・中・高校生や保護者の方々の悩みについてご相談をお受けしています。

相談日時 月曜日～金曜日… 午前9時から午後5時まで（少年センター開所日）

相談場所 吉川市少年センター <所在地>吉川市吉川一丁目21番地13

相談方法 電話相談 相談専用電話 981-3863
来所相談 少年センターへお越しください。（事前にご連絡ください。）
訪問相談 ご希望があれば、ご自宅へ訪問することもできます。
大学生が訪問するアウトリーチ事業もあります。

各学校でも「おおぞら相談員」「さわやか相談員」「スクールカウンセラー」が相談をお受けしています。
まずはお電話でご連絡ください。